

令和6年度



YURIKAGO 通信

《6月号》

R 6 . 5 . 2 4 東京ゆりかご幼稚園



畔塗り・代かき後

子どもにとっての原風景

緑深まるこの時期の園庭は、過ごしやすく心地よさを感じます。子どもたちは、毎日表情を変える園庭の自然を、溢れんばかりの好奇心で受け止めながら様々な発見をしています。今月より、**ナーサリー1歳・2歳児クラス**、**うさぎ組**(2歳・満3歳児)もスタートしました。また、ナーサリーの方を対象とした「**通年園庭開放**」も2年目を迎え、園庭を親子で散歩したり、ヤギにエサをあげる光景が見られます。

園では、この「**里山園庭**」が子どもたちにとっての「**原風景**」になればと願っています。そのためには、できるだけ手を加えずに「**原空間**」であること、子どもが扱いやすい「**原始的な道具**」にこだわるのが大切で、その上で豊かな「**原体験**」が促されと考えています。くどいほど同じ言葉を使いましたが、この「**原・・・Primitive**」が子どもの好奇心をくすぐるキーワードです。



梅雨に入り、雨の日が多くなると「**外遊びが出来なくて残念**」と感じますが、「**晴耕雨読**」という言葉のように、晴れには外で大いに遊び、雨には屋内ならではの過ごし方を楽しむことも大切です。例えば「**縁側テラス**」から眺める雨も素敵な景色で、こうした時間も大切にしたい日本の文化です。

一方、北欧では「**森のようちえん**」のように、雨の中でもレインコートを着て外で遊ぶ文化もあり、雨ならではの自然の表情に出会うことができます。例えば本園の園庭では、**棚田**でアオガエルの美声を聞きながら、**里芋**の葉に踊る雫を楽しむこともできます。こうした豊かな体験を楽しみながら、自然の面白さや不思議さを感じる場面を大切にしたいと思います。



シュレーゲルアオガエル

八王子市長に受賞のご報告

先日、八王子市の初宿市長を表敬訪問し、「**全国学校園庭ビオトープコンクール** ドイツ大使館賞受賞」のご報告をいたしました。また、七国の森の豊かさを紹介し、子どもたちにこの地域の豊かな自然を残していただけるようお願いして参りました。

子どもたちから託された「**市長さん、幼稚園の森にも遊びに来てください!**」という動画メッセージもお伝えし、「**市長さんに渡して!**」と預かった**ムササビ**のぬいぐるみもお渡ししてきました。市長は子どもたちの動画に笑顔で手を振られ、喜んでぬいぐるみを受け取っていただきました。

(市長はムササビを、園長はドイツ大使館のキャラクター「**ネズミ**」を持っています)



2ヶ月を経て・・・

年少さんは幼稚園に慣れ、GW明けの「**幼稚園よりお家がいい**」という退行現象も経て生活面も徐々に安定し、遊びも広がりを見せています。これまで頑張ってきた反動が見られたり、自我が出せるようになることで友達とのぶつかり合いも増えますが、こうして友達や集団を少しずつ意識しながら人間関係を深め、社会性を育てていきます。この2ヶ月間の経験が自信となり、今後の幼稚園生活を充実させていく礎になります。お子様の成長を認め、讃え、また励ましていただきますようお願いいたします。



園庭では、**棚田**、**カエル池**、**森**、**てっぺん広場**など、様々な場所で遊びが広がっています。



制作も集中して！ 父の日のプレゼントづくり 豆苗の栽培 運動遊び ムササビ観察

年中さんは広いクラスでお友達も増え、制服登園となるなど、年少の頃とは異なる生活環境が「お兄さん、お姉さんになった！」という自信や自覚を促してくれます。触れなかった虫に触れるようになったり、登れなかったアスレチックや櫓に登れるようになったりと、「できること」が格段に増える年中さんにとって、1学期後半は遊びや諸活動に大きく挑戦していく大切な時期です。時には失敗や挫折を繰り返す場面もありますが、挑戦する姿勢を認め、見守っていただきますようお願いいたします。



年少から育てた麦も大きくなった！ アサガオ栽培 桑の実収穫 おいしそう！



相原中央公園へ パット先生のECC シジュウカラの子育てを観察 初めてのキーボード

年長さんはこれまで積み上げてきた経験をもとに、新たな課題に取り組もうとする意欲が大きな成長を促します。この意欲を維持し、高め、成長につなげていくためには、日々の安定した生活習慣が大切です。ご家庭におかれましても、十分な睡眠、早寝早起き朝ご飯、挨拶、整理整頓、ハンカチ・ティッシュなど、年少さんから続けている基本的な生活習慣を崩さずに、就学前の最後の1年を過ごしていただきますようご協力をお願いいたします。



チンゲンサイ・ナス・大根をクラスごとに栽培 スナッフエンドウ・キヌサヤの収穫 ミニトマトの栽培



東北の森復興にドングリ苗を送る 殿入中央公園へ リレーに夢中 佐々木隊長の自然体験プログラム

“おカイコさん”を育てます!!

本年度もカイコを育てます。横浜のシルク博物館から頂いた500粒の卵が孵化し、小さなカイコの赤ちゃんが誕生！園庭の桑の葉を与えてお世話をし、糸をとり、遊びや生活に活かせる物を作ります！



年長 田起こし～水入れ～畔塗り・しろかき

年長さんは、剣スコップで棚田の土を掘り起こし（田起こし）、地下120mからの井戸水を入れ、土を足で踏み砕いてなめらかにし（しろかき）、畦に土を塗り水が漏れないようにしました（畦塗り）。泥遊びも楽しみながら棚田が蘇りました。また、5/18に行われた「鉄腕クラブ」でも、親子で田んぼ全面の代かき、畦塗りをを行い、みんなの力で美しい棚田が完成しました！

種籾から育てた育苗箱の苗も元気に育ち、棚田へ移動。いよいよ田植えです！



田起こし、水入れ、畔塗り、しろかき、苗を運んで、次は田植え！